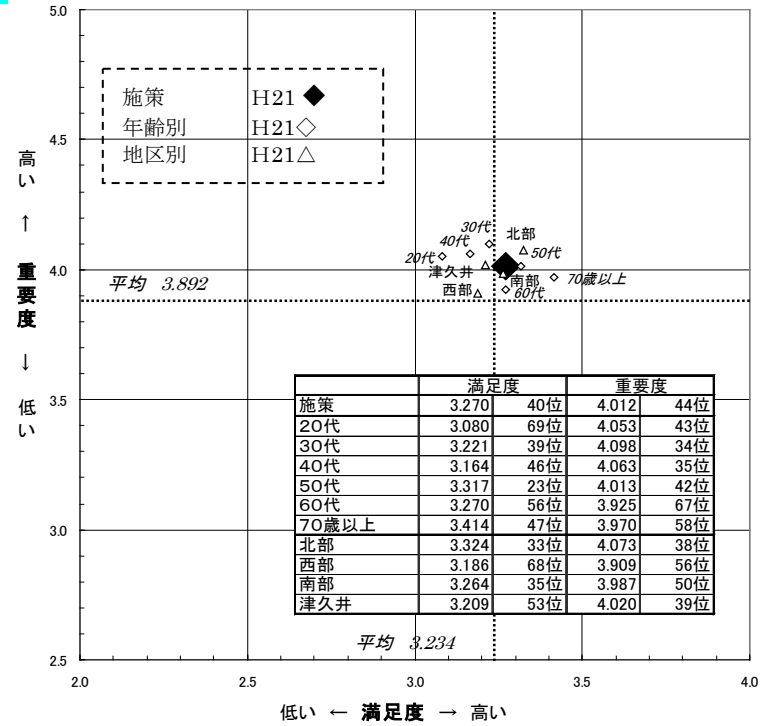




### 5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.27で全119施策の中で40番目。
- 重要度は4.012で44番目である。
- 改善要望度は0.059で54番目である。

自然に配慮した河川環境の創造



### 6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④ 2 1	④ 2 1	
合計		42 8		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) —A(9点以上)—B(8点・7点・6点・5点)—C(4点以下) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	平成18年、国において多自然川づくり基本指針が策定され、河川管理全般を視野に入れた川づくりが必要となったことにより、河川整備から維持管理までを市民協働で行うことが必要となる。また、それに伴う財源の確保が必要となる。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階から市民協働(ワークショップ形式等)を取り入れ、維持管理においては街美化アダプト制度等を導入し事業を進める。</li> <li>・国、県からの補助金等の確保を図る。</li> </ul>

### 8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

ハード整備により目的が達成される施策であるため、効率性の評価は行わない。(評価は昨年度のA=6点以上、B=5、4点、C=3点以下で行う。)	2次評価 A
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

### 9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向